

受付番号 470

グループ名称

快適2×4家造りの会

様式3

**事務局体制の確認**

**選択** **事務局体制の確認**

- グループ内に専任の担当者がいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

**選択** **事務局の業務委託の確認**

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

- 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

**選択** **グループのサポート体制**

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容 枠組壁工法の厳格な告示仕様の確認を行い、品質の管理をサポートしている。

**選択** **グループ内の情報共有の方法**

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容

**選択** **所属工務店の廃業等があった際の対応**

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容 倒産、廃業発生の際には、早期に検討会を立ち上げ、建築主に対応策の提案を行う

**地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて**

**選択** **主要構造部における地域材の推奨割合**

- 50%未満
- 50%以上
- 80%以上

**選択** **グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**

- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- その他

内容

受付番号

470

グループ名称

快適2×4家造りの会

様式3

選択

## 地域型住宅の生産体制に関する取組み

- 地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
- 地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
- 地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
- 地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
- 使用する地域材の在庫把握の仕組み
- 指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
- 地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
- 完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
- その他

内容 住宅の品質・性能を担保し得る材料を、在庫量・コスト優位性も検討して、選定・統一にあ

## 地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択

## 住宅履歴情報の管理・活用について

- 住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
- 住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
- 住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
- グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
- その他

内容

選択

## 維持管理の実施に関する取組みについて

- グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
- 各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
- グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
- 維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
- その他

内容

選択

## グループ事務局での維持管理の対応について

- グループ事務局が施工業者に連絡して維持管理・点検を行う
- 維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
- 維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

## グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択

## グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について

- 補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
- 地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
- 地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
- 地域型住宅の維持管理に関連した研修会
- 住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
- 住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
- 改正省エネルギーに関連した研修会
- 顧客提案等の営業手法等に関する研修会
- 工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
- CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
- 事業者向け現場見学会
- その他

内容 技術についての個別説明会や現場見学会を行っている。また構造セミナーなどを他団体とも

選択

## グループ(事務局)の未経験工務店の割合

- 未経験工務店は所属していない
- 未経験工務店の所属が1/3未満
- 未経験工務店が1/3以上
- 未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

受付番号

470

グループ名称

快適2×4家造りの会

様式3

選択	グループの未経験工務店に対するサポート体制
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店への優先サポートの実施
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
<input checked="" type="checkbox"/>	各種認定取得サービスの活用提案
<input checked="" type="checkbox"/>	施工管理・施工検査のサポート
<input type="checkbox"/>	営業支援（提案書作成・営業同行）
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による交付申請書類作成支援
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による実績報告書類作成支援
<input type="checkbox"/>	特にサポートは行っていない
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	プラン検討、構造計算など構造面を主体にしたサポートを行っている。

**地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認**

選択	地域型住宅として地域社会との連携・継承等について
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の伝統的なデザインの継承を意識している
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の街並みの継承を意識して対応する
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の住まい方の継承を意識して対応する
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

**災害時等への対応についての確認**

選択	災害発生時・発生後の対応について
<input type="checkbox"/>	特に取り決めしていることは無い
<input checked="" type="checkbox"/>	取組みを行っている
	災害が発生した際には、早期に検討会を立ち上げ、情報収集し、対応策を検討する。

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受ける

受付番号

470

グループ名称

快適2×4家造りの会

#### グループの取組み等PRポイントについて

四季が与える室内環境への影響を住宅性能により緩和し、湿度等の影響による躯体性能の低下には長期優良住宅が持つ性能を設計・施工両面から担保するとともに、高耐久な国産材（杉・桧）を最大限活用することにより、その劣化に対抗する住宅を供給していく。

#### 地域型住宅の性能・アピールポイントについて

2×4工法の外壁は、枠組材に構造用面材を貼った大壁構造のため、枠組材の間に空気層を作り、また断熱材はその空気層に充填するため施工も容易である。構造体自体を断熱化しやすく、気密施工も容易であるため、温熱環境優位性、気密施工に優れた住宅を供給できる。また2×4工法はモノコック構造であるため、優れた耐震性を有することができる。

#### 地域型住宅における地域材の活用について

高耐久な国産材スギスタッド・ヒノキ土台を中心に全量地域材での運用を図っている。中部地方における国産材、近隣県の認証材の牽引役として本会を立ち上げ、実績を積んできた。今後も普及に向け先導的な役割が果たせるよう、引き続き広報活動を検討していく。また、びわ湖材認証材(滋賀県産材)の供給体制強化や、調達の仕組みを整備して実績を積んできており、愛知県産材の活用も行っている。

#### 引き渡し後の維持管理について

維持管理計画にもとづき、点検実施と適切な補修を行っている。デジタルデータにて設計情報を事務局が保管し、リフォーム支援実施時の情報含蓄としている。

#### 消費者相談窓口の有・無と対消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

グループ事務局であるシガウツドのホームページにて相談を受け、相談があった際にはグループの  
施工事業者と協力して提案を行っていく。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	快適2×4家造りの会			
R3採択グループ番号	10	-	0453	- 0410

F:交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施	<input checked="" type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他				

(1)-6 :モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目			
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input checked="" type="checkbox"/>	その他		前年度までの実績から検討

(1)-7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	4	0.49	101	20	<input checked="" type="checkbox"/>	5.5				
2	5	0.51	104	22	<input checked="" type="checkbox"/>	5.5				
3	6	0.53	122	22	<input checked="" type="checkbox"/>	5.5				
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3).でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	5	0.51	80	22	<input checked="" type="checkbox"/>	5.5				
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1:導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/>	地熱利用	
<input type="checkbox"/>	その他			

(2)-2:現在の運用をお答えください

選択項目			
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している	<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入していない